

営農掲示板

JAお
特別号

夏の暑い時期になりました。暑さの影響はお米にも出てきます。今回はお米への暑さ対策を紹介します。作業する人も、熱中症にならないように注意して下さい。



■ 水稻栽培情報

高温期の水管理について

高温になると何が問題？

- ・登熟期に高温になると**白未熟米**が発生します。そのため**整粒歩合**が低下します。
- ・白未熟米は、蒸散量の低下により稲体への**水分及び養分供給量の低下**が原因となります。

対策としては、**飽水管理**を行うと良いというデータがあります。

飽水管理とは

- ・田面に水はありませんが、足跡の底に水がたまっている箇所が散見されている状態をいいます。
- ・出穂期から出穂25日後までを目安として行いましょう。

※湛水管理などの、他の水管理と比べて日中及び夜間の地温上昇が抑えられるため、根の発達や活力の低下による水分供給能力の低下を抑えることができます。



※グリーンレポートより引用

熱中症対策について

- ・細めに水分補給！ のどが渇いてからでは遅い。その前に水分を取りましょう。
- ・水だけでなく、スポーツドリンクや塩分補給タブレットを取りましょう。
- ・無理は禁物！ 涼しい時間を選ぶなど、無理のない作業をお願いします。
- ・曇りの日でも油断は禁物！ 湿度が高く蒸散量が高くなるので気を付けましょう！

今後も暑い日が続きますので、十分注意しましょう！！